地域版 南薩

南薩支局
加世田市村原585-2
☎0993-52-2170
通信部
加世田
指宿
枕崎

工事ニュース
団体・企業ニュース、催し物等のどは支局、通信部へご連絡下さい。

年内に工事発注

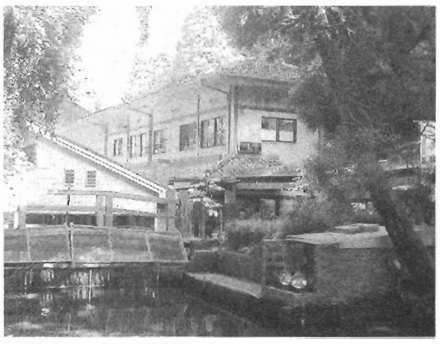
開聞町

そうめん流し調理場改修

揖宿郡開聞町は、同町十町の唐船峡公園休憩施設「町営そうめん流し」の調理場改修に伴う設計を委託する。年内にも工事に着手する予定で、年度末までの完成を目指す。

唐船峡公園は、同地区「町営そうめん流し」が入江であった時代に、唐の船が出入していたことから、字名唐ケ迫にちなんで命名されたもので、その中のメーンでもある「町営そうめん流し」は、昭和37年6月に、湧水を利用して竹樋で作ったそうめん流しをスタートさせたことが発端で、45年には現在知られる回転式そうめん流し器の窓匠を登録。"そうめん流し発祥の地"第1号として、現在では県内外の多くの人に知られるようになり、年間で約30万人もの利用客が訪れるほどとなっている。

その中で、今回の調理場の改修計画は、筑後20数年以上が経過して建物本体の老朽化が進んだことと、利用客への更なるサービスの向上を図ることなどを目的に計画されたもの。構造は、S一部RC造2階建、もしくはRC造2階建を予定しており、延べ床面積は約2



調理場の改修が行われる
町営唐船峡そうめん流し

インタビュー席

加世田労働基準監督署長
稲富 正則 氏 ㊤

――就任後の今の心境は

加世田監督署の管轄は、2市8町（加世田市、枕崎市、笠沙町、大浦町、坊津町、知覧町、川辺町、金峰町、吹上町、日吉町）となっている。現在、管内の市町村合併の方向がまとまって、いろいろな議論が出されているようだが、これがどのような方向でまとまるのか興味を持って見守っているところだ。ぜひ、地域の発展と住民の便利のためにうまくまとまればいいと考えている。また、管内には建設業関係の主な団体として、県建設業協会加世田支部や日置支部、南薩建設友の会などがあるが、各団体とも厳しくなる一方の状況の中で、労働災害防止に向けた自主的な取り組みを積極的にやっていただいているのではないかと感じてありがたく思っている。今後とも、このような団体の皆様や発注機関の方々とも連携・協力をうまく取りながら、管内建設業の労働災害防止に取り組んでいきたいと考えている。

労災防止
業界団体と連携・協力

――管内の労働災害発生状況について

建設業における労働災害の状況は、長期的には減少してきている。ここ10年間の状況（休業4日以上）で見てみると、50人以上となった年が5回あり、またピーク時には80人近くになったこともあった。しかし、14年は32人となっておりピーク時の半数ほどとなっている。

しかし、前年比で見れば14年は13年に比べ5人増となっており、更に15年6月現在では、14年に比べ9人増（特に土木工事業の増加が目立ったが）の21人となっていることから、今年は危惧される状況が続いている。建設業者の皆さんの取り組みの強化をお願いしたいと思う。

死亡災害につきましては、ここ10年で見ると建設業で3人（全産業では5人）発生したという年もあった。このような中で、12～13年はゼロ、14年は1件発生しているが、14年の死亡事故は工事現場に通行中の自動車が運転を誤り突っ込んできて労働者をはねたもので、現場の安全管理とは直接関連はないものであった。だから、ここ3年間の死亡事故はゼロに近い実績と言ってもよいのではないかと考えている。

ハーモニー団地に全建賞
自然エネルギー活用を評価

毎年、公共事業の中から優秀なものを選考し、その実施機関を表彰する㈳全日本建設技術者協会の「全建賞」に、公営住宅「県営・市営ハーモニー団地」が受賞、このほど、表彰式があり、加世田市の相星完治助役が表彰を受けた。

同協会は、戦前いくつかあった建設技術者の組織が合同し、昭和21年12月に誕生したもので、国をはじめ県、市町村、公社などの建設技術職員を中心とする正会員約9万5000人で構成されている、我が国唯一最大級の建設技術者団体で、同表彰は、同協会が毎年度、公共事業の中から優秀なものを選考し、実施機関（発注元）を表彰し、建設技術の進歩・発展に寄与することを目的とするもの。

受賞した公営住宅ハーモニー団地

あの人この人

構つばめ機動建設 課長 宮本 剛さん

――日ごろ心がけていることは。

現場を持ったびに、その現場に対して迅速且つ一番良い施工方法を検討し、利益を最大に出せるよう日々努力しています。

――最近の出来事は。

今度、6歳になる息子と3歳の娘がいますが、息子の乳歯が2本抜け永久歯が生えてきました。うれしく思うと同時に、段々親から離れていくのが近づくと思います。

――近くのお薦めスポットは。

湯の浦カントリークラブ。素人の私でもそこそこのスコアが出せるおもしろいコースです。

――今後の目標は。

いろいろな資格の取得、技術の向上に努め、より知識を高めて、人並み以上の現場監督になりたい。

（吹上町）

加世田市が構造改革特区申請
砂丘地域の再生振興を

加世田市は10日、国の構造改革特区に「砂丘地域再生振興特区」を申請した。荒廃化の進む農地の再生を目指し、農業生産法人以外の法人への農地の貸し付けを前提とした市等による農地取得や地方公共団体・JA以外による特定農地貸し付けによる市民農園等の設置ができるよう規制緩和を求めている。

砂丘地域再生振興特区の申請区域は吹上浜の南端に位置し、万之瀬川河口以南から小湊干拓までの海浜地域450㌶で、砂丘らっきょう、葉たばこ、ピーマンなどの生産等、特性を生かした農業振興が図られてきている。

従来、同地域には農業の中核的な担い手も多く存在し、同市における農業生産の中心地域でもあった。しかし、農業粗生産額に占める割合が市内全体の約26％にも達している一方で、担い手不足等により、遊休化・荒廃化した農地が100㌶を超え、大きな課題となっているため、農業生産法人以外の法人への農地の貸し付けを前提とした市等による農地取得や規制緩和を求めている。

計画目標によると、特区申請区域内の遊休農地を再生・復元し、多様な担い手による農業参入を取り入れた砂丘地農業を核とする地域産業の最構築と地域内外の集客力や有用資源を利活用によって、「農業複合エリアとしての機能を備えた農村文化公園」と位置付け、最終的に砂丘地域の活性化につなげるとしている。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ